

令和6年度

くまもとサイエンスカフェ

大峰火山と布田川断層

— 大切畑ダムとインフラ復旧 —



工事中の大切畑ダム。奥が大峰火山



堤体を横切る布田川断層。地震直後の様子



大峰火山の噴出物（溶結火砕岩）

2016年熊本地震では、大切畑ダムを横切る布田川断層が横ずれしたことでダムが損傷しました。そのため、ダムの復旧では布田川断層を避ける形で新たに堤体を作り直しているところ。また、ダムに隣接する大峰火山の山麓を掘削中であることから、大峰火山の噴出物を観察することができる貴重なタイミングとなっています。今回のサイエンスカフェでは、ダム周辺で布田川断層を観察するとともに、工事現場内でダム建設の状況を見学し、活断層とインフラとの関係を考えます。

参考図書「熊本地震の痕跡からの学び」（熊日出版）96-105ページ

くまもとサイエンスカフェとは？

お茶を飲みながらゆったりとした対話形式で、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立て頂くことを目的とした取り組みです

2024

5/19

参加費無料

日曜日

13:00-16:00

会場 西原村大切畑ダム周辺
熊本県阿蘇郡西原村小森

対象 どなたでも（先着30名）

お申込み・問い合わせ

減災型社会システム部門のwebサイトか、下記の二次元コードからお申込みください。

締切り5月17日(金) 12:00
(ただし定員に達し次第締め切ります)



熊本大学くまもと水資源・減災研究教育センター
減災型社会システム部門

☎ 096-342-3489(平日9:00-16:00)

✉ gensai0@kumamoto-u.ac.jp

お手数ですが■を@に入れ替えてお送りください